

## Ⅰ はじめに

本校では、平成30年度より「就労準備性チェックリスト（琴の浦高等特別支援学校版）」を作成し、生徒に実施することで、就労準備性がどの程度身についているのかを検証してきた。

就労準備性とは、働くことについての理解・生活習慣・作業遂行能力や対人関係のスキルなど、基礎的な能力のことである。これらは、職種、障がいの有無を問わず、働く上で必要とされる力である。

そして、「働くこと、働き続けること」ができるためには、「健康管理」「日常生活管理」「対人スキル」「基本的労働習慣」「職業適性」の5つの事柄に対する能力が必要となる。

右の図は、「就労準備性ピラミッド」と呼ばれているもので、障がいの有無に関わらず、人が就業する上で必要とされる能力を優先順位で並べたものである。これらの能力が、ピラミッドの底辺から順に備わっていないと、働き続けることは難しいと言われている。

本校では開校時より、職業的自立を目指し、社会人としての基礎的な力を育てることを教育の土台として取り組んできている。この就労準備性チェックリストの実施結果から、これまでの本校の教育活動の検証をし、来年度の取組に活かしていくこととした。

